

東京圏の通勤輸送については、「通勤地獄」の表現さえ使われた1950年代から混雑が顕著になり社会問題になった。当時は施設基盤や輸送力もまだ貧弱で、1970年代にかけて十数年の間に進められた複々線化など輸送力増強工事によって相当に改善されたことも事実であるが、需要の伸びも大きく「快適通勤」への道は遠い。近年の

特徴は都市圏の拡大により遠距離通勤の需要が増大したことで、都心から50km圏も特別なことではなく、スピードアップや着席サービスの提供など、従来は見られなかった施策が取り入れられるようになっていく。しかし、都庁の移転など新宿新都心の発展によって山手線・中央線の通勤の流れが大きく変わり、地下鉄新線開業

により新たな都心直通ルートが生まれるなど、通勤の実態も徐々に変貌してゆく。社会情勢や生活環境の変化に応じて利用者の意識も移ろいやすい。通勤時間帯は混雑率200%でも昼間は閑散となる線区も多く、ピーク時のための大規模改良に時間と資金を投入するより、従来とは違った対策を考える段階であるかもしれない。



■RAILWAY REVIEW 種村直樹	95
■MINI TOPICS	106
■DIARY	107
■WIDE LENS	147
ワイドレンズ/ジュニアフォーラム/鉄道友の会だより/新刊紹介	
■トラストトレイン	149
■ズームレンズ/魚眼	162
■CONTENTS	163
■鉄道記事ざっくばらん	163
■タブレット/読者論壇	170
■こちら「ジャーナル編集室」/次号予告	172

(表紙写真) 東京有楽町を走る山手線電車。ステンレス車体の205系電車は1985年初登場であるが機能本位のスタイルで、個性的な建物が次々に現われる東京の景観にはマッチしているようだ。一周およそ1時間、東京見物にも使える。(カメラ=山崎友也)

特集●東京圏の鉄道 2000

首都圏最大の通勤線区を見る

ショナン・ヨコスカ オートメーション

鶴 通孝/目黒義浩 9

山手線物語

松尾定行/山崎友也 23

JR東日本 東京圏における輸送改善の取組み

松下則幸 36

RJ REFERENCE 通勤輸送のキーワード

編集部 49

東京圏私鉄各社の通勤電車

編集部 52

Your way back home 家に帰ろう

金子明敬 59

帝都高速度交通営団の経営形態について

佐藤信之 64

これから開業する東京圏の新しい鉄道は、いま

編集部 69

東京モノレールvs京浜急行電鉄

羽田空港アクセスの変

種村直樹/目黒義浩 74

◆特別連載企画 ヨーロッパの高速列車最新情報

■列車追跡シリーズ-497 パリ〜ブリュッセル〜ケルン〜ハンブルク

欧州統合の星 TGV-Thalysとドイツの新サービス MET

南 正時 83

RAILWAY TOPICS

96~105

◆JR東日本 12月4日改正で「山形新幹線」が新庄へ

◆JRグループ旅客6社「冬臨」の運転計画を発表

山陽新幹線を一部運休してトンネル総点検を実施
鉄道の日「フェスティバル」は15万人来場
JR東日本が導入のICカードは「スイカ」に
JR東日本 障害対策にATOSを改修・強化
東京駅赤レンガ駅舎復元でJR東と都合意
JR貨物が21世紀の動力分散列車を検討
関東17事業者 2000年10月に共通カード導入
のと鉄道穴水〜輪島間 県も廃止案に傾斜
JR北海道 宗谷本線新型特急は(スーパー宗谷)に
山手・京浜東北線保守工事に新型レール削正車活躍

東武野田線 新駅開業などで11月25日にダイヤ改正
西武新宿線に新型通勤車20000系を18両投入
横浜高速鉄道Y000系 こどもの国線で暫定運転中
都営三田線6000形全廃 インドネシアへ72両譲渡
小田急 2200形静態保存車を往年の塗装に復元
京王3000系が松本電鉄に入線 5000系を置換え
JR東海 キハ75形増備でキハ58系が運用終了へ
福井鉄道 軌道専用車モハ562号を再整備運転
JR西日本 「かにカニ列車」を山陰方面へ増発運転
はやぶさ・さくら・富士は24系・14系の混結運転に

鉄道とともに50年 (88)

齋藤雅男 108

■特別企画 天国と地獄の旅路 PART1

果てしなき大草原をゆく 北京→大同→ウランバートル 1,607km

竹島紀元/目黒義浩 115

■Overseas Railway Topics

136

フランクフルト空港に高速鉄道の駅が開業

137

◆RJ FLASH

軌間可変電車の概要とプエブロでのテスト

小田和裕/酒井正勝 138

◎鉄道・軌道整備に対する助成制度の概要◎事例紹介18

東葉高速鉄道に対する経営支援策について

佐藤信之 160

Bus Corner

144

●編集・発行者	竹島紀元
●発行所	株鉄道ジャーナル社
●表紙デザイン	唯野信廣
●編集スタッフ	宮原正和/三浦 衛/鶴 通孝 杉浦 誠/平賀尉哲
●写植版下	㈱サン・ブレン
●印刷所	凸版印刷㈱